

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『ローカル鉄道の経営戦略とマーケティング』 ——長良川鉄道を事例として』

坂本桂二、大野貴司著／三恵社発行／2020年2月
／A5判／240ページ／2,460円＋税

長良川鉄道を含む第三セクター鉄道のほとんどは、その経緯や条件から非常に厳しい経営状況にある。もはや「乗って残そう」という情緒的な運動では黒字化は望めない。しかし、ローカル鉄道の多くは中山間地における交通弱者の移動手段確保など、住民の足として大きな役割を担っている。路線単体では赤字が不可避であったとしても、地域全体の経済や政策、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）への貢献を加味すれば必ずしも赤字とは言えないのではないか。本書は、こうした状況をふまえてローカル鉄道の今後の展望を捉えようとするものである。また、長良川鉄道代表取締役専務であり岐阜女子大学でも教鞭をとる坂本氏らによる論考では、観光列車や貨客混載、イールドマネジメントなどをキーワードにアプローチした具体的な取り組み例がまとめられている。

目次：ローカル鉄道の現状と戦略 —— 第三セクター鉄道の歴史と変遷、第三セクター鉄道経営を取り巻く環境変化、ほか／キーワードからアプローチ

する長良川鉄道のマーケティング —— 長良川鉄道の観光化、観光列車「ながら」の導入、ほか 原□

『駅名学入門』

今尾恵介著／中央公論新社発行／2020年3月／新書判／296ページ／920円＋税

本書は、日本の駅名がどのように命名され、定着し、改称されてきたのかについて、地図研究家（日本地図学会評議員）が歴史的背景をふまえて考察したものである。現在、日本には1万ほど駅が存在し、たいていの駅名には地名が付いているが、駅名と地名の関係を考えるには、開業時もしくはその駅名に改められた当時の地名の状況をよく観察する必要がある。それによって、駅名の採用基準や、なぜ観光や防諜などのために改称されたのかが、明らかになる。そして、これからの駅名の決定にあたっては、地名が地域の過去と現在を結び「糸」として重要な役割を果たしてきたことや、長く将来に残していくことが重要であることから、歴史的地名の尊重を第一にするべきだと述べられている。

目次：駅とは何か／駅名に採用される地名とその階層／在来線の駅名／路面電車の停留場／新幹線の駅名／神社仏閣の駅名／数多い「前の駅」／東西南北と中、そして新／駅名が変わるとき／観光のための改称／防諜のための改称／住宅地系の駅名はブランド化する／これからの駅名はどうあるべきか
古森□

新着情報（2020年3月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 Beyond MaaS——日本から始まる新モビリティ革命：移動と都市の未来 日高洋祐、牧村和彦、井上岳一、井上佳三 日経BP社 2020年3月
- 2 交通学研究（第63号）——交通市場における女性の役割 日本交通学会編 同会、交通経済研究所（販売） 2020年3月
- 3 物流総覧 2020年版 カーゴ・ジャパンカーゴ

- ニュース編集局編 同社 2019年12月
- 4 旅行業六法 令和元年度版 観光庁参事官(旅行振興) 監修 東京法令出版 2019年12月
 - 5 ヘルス／メディカル・ツーリズム研究——高付加価値化による地域活性化 辻本千春 大阪公立大学共同出版会 2020年2月
 - 6 観光による課題解決——グローバル化と人口減少による歪みを越える 堀内史朗 晃洋書房 2020年2月
 - 7 ローカル鉄道の経営戦略とマーケティング——長良川鉄道を事例として 坂本桂二, 大野貴司 三恵社 2020年2月
 - 8 駅名学入門(中公新書ラクレ682) 今尾恵介 中央公論新社 2020年3月
 - 9 鉄道のドイツ史——帝国の形成からナチス時代, そして東西統一へ(中公新書2583) 鳩澤歩 中央公論新社 2020年3月
 - 10 世界の鉄道調査録 秋山芳弘 成山堂書店 2020年3月
 - 11 道路データブック2019 日本道路協会編 同法人 2019年11月
 - 12 トラック運送の課題・政策と働き方改革——貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律(トラックの働き方改革)の解説 盛山正仁 大成出版社 2020年3月
 - 13 世界のコンテナ輸送と就航状況2019年版 日本郵船調査グループ編 日本海運集会所 2019年12月
 - 14 モーダルシフトと内航海運 森隆行編, 松尾俊彦, 田中康仁, 石田信博, 永岩健一郎, 石黒一彦 ぎょうせい 2020年4月
 - 15 海事六法2020年版 国土交通省海事局監修 海文堂出版 2020年3月
 - 16 航空輸送100年——安全性向上の歩み 遠藤信介 日本航空技術協会 2019年8月
 - 17 成田空港ハンドブック2019年版 成田国際空港監修 成田国際空港振興協会 2019年7月
 - 18 航空六法 令和元年版 国土交通省航空局監修 鳳文書林出版販売 2020年1月
- <外国書>
- 19 中国交通発展総合報告2019(中国交通藍皮書) 中国交通発展総合報告編委会編 中国鉄道出版社 2019年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『交通経済論』

島田孝一著／前野書店発行／1956年

本書は、初代日本交通学会会長が、早稲田大学総長を退任後、大学や大学院で使用する交通論の教科書として公刊したものである。まず、交通の概念を人、貨物及び音信を場所的に移動せしめる行為であると規定するとともに、通路と運搬具と動力の三要素からなる交通機関、経済的のみならず政治的、軍事的、社会的などさまざまな面を有する交通の機能について説明されている。次に、交通事業、交通役務、交通賃率及び運賃に関して整理してまとめられている。特に交通賃率及び運賃については、詳細な検討が行われている。そして、交通政策について、監督政策と補助政策を中心にまとめられている。60年以上前に執筆されたものであるが、交通事業を分析する際の有益な示唆を得ることができる資料である。 古森□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。交通に関する各種統計や基本書などをご利用いただけます。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

なお、閲覧をご希望の方は、電話、ファックスなどでご連絡くださいますようお願いいたします。また、現在貸出および複写サービスは実施しておりませんので、どうぞご了承ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：<https://www.itej.or.jp/>

最寄駅：JR／東京メトロ 上野駅から徒歩3分

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳